

# 編 集 後 記

令和3年8月10日

編集委員長 竹下 盛重

本年度日本細胞学会九州連合会雑誌は、電子ジャーナル化を目指して2年目になりました。著者との対応に際し、非常に便利になりましたが、本年度中に本来の電子ジャーナル化が完成する様、尽力いたします。さて、昨年2月からコロナ（COVID-19）感染症の影響で、大分で開催予定でありました九州連合会総会が中止になり、本年度の会誌発刊は困難を極めました。しかしながら、数施設のご厚意により原著論文、症例報告をいただきまして、体裁を保つことができました。関係各位の方々に感謝いたします。

昨年度より、学会等も Zoom, Web を利用した形で、現地と合わせた形（ハイブリッド）の開催がなされております。Zoom, Web での学会開催は、その期日のみ、また1ヶ月くらい視聴可能であり、時間の節約、移動できない状況でも参加が可能になり、便利になりました。有益な対応と考えられます。その反面、直接話し合いや懇談が難しい状況で、物足りない面も出ております。しかし、現在のコロナ感染状況から考え、次年度も同様な学会開催が持続しそうな勢いです。本年度の九州連合会総会は、大分市で10月初旬現地開催し、加えて収録したものを後日 Web で聴講可能にする予定と聞いております。会員の皆様には、今まで蓄積された研究や興味ある症例が多数あることと思われまふ。各人発表をされ、本学会誌に投稿をしていただくことを希望いたします。また、本年の学会雑誌の様に直接投稿いただけますので、ご配慮のほどお願いいたします。

コロナ感染に対する予防接種は本年3月から段階的に進んでいますが、世界的なワクチン供給不足で十分な対応が出来ておりません。加えて、変異株 COVID-19感染も多く発生していることより、本感染は本年度、来年度も続くことが予想されますが、一か月でも早く、コロナ感染が終息することを願います。皆様におかれましては、感染を上手く回避し、ご健勝でご活躍されますことをお祈りします。

最後になりますが、本会誌に雑誌投稿の注意点について編集委員よりの提議を出させていただきました。若い方々の投稿に際する注意点、読者から見た注意点等を掲載しております。一読いただければ幸いです。

## 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌編集委員会

編集委員長：竹下 盛重

編集副委員長：西山 憲一

編集事務局長：緒方 昌倫

編集担当役員：大石 善丈、大久保文彦、田宮 貞史、土岐 尚之、松本 慎二、山元 英崇

編集委員：碓 益代、今村 彰吾、宇野 大輔、大谷 博、小材 和浩、佐藤 真介、角谷 優子、関本 哉恵、  
寺戸 信芳、南部 雅美、西山 尚子、野中 修一、山口 知彦、横山 俊朗、渡辺寿美子

査読委員：相島 慎一、安部 秀幸、有馬 信之、石原 明、稲田 千文、井上佳奈子、卜部 省悟、大久保文彦、  
大城真理子、大塚 幸二、大西 紘二、小田 義直、加来 恒壽、柏村 正道、片渕 直、神尾多喜浩、  
川越 俊典、河原 明彦、木戸 伸一、金城 満、金城 貴夫、黒濱 大和、小材 和浩、坂井 真一、  
佐藤 真介、島松 一秀、自見 厚郎、瑞慶覧陽子、角谷 優子、駄阿 勉、竹下 盛重、立山 敏広、  
田中 小夜、田中 義成、田宮 貞史、寺戸 信芳、土岐 尚之、中島 秀樹、南部 雅美、新野 大介、  
西田 陽登、西田ゆかり、野元 三治、花傘禮富美雄、濱田 哲夫、林 洋子、林 透、比嘉 譲、  
東 美智代、本田 由美、前田ゆかり、松田 勝也、松本 慎二、丸田 淳子、山元 英崇、横山 俊朗  
(50音順)